

市政一般質問発言通告書（会派代表）

令和7年8月21日

多治見市議会 議長様



会派名 市民ネットワーク

19番議員 氏名 井上あけみ

質問題名	市民意識調査から見る市政への要望（重点施策）は
質問要旨	令和6年度の市民意識調査の今後力を入れてほしい施策を、20%以上で要望が多い順番は以下の通りである。1、高齢者支援、2、道路環境の整備。3、学校教育の充実4、公共交通施策の推進、5、企業誘致、6、中心市街地活性化であった。この内4番までは25%以上、5、6は20%を若干上回るものだ。ちなみに7番目は健全財政である。今回は、4番までの状況について以下質問する。
質問項目①	高齢者への支援は人口の高齢化に伴い必然と考えるが、一般に支援とは与えるばかりではなく社会参加、生きがいつくりの機会も必要である。 ① 市民農園の拡大の意思。当市の市民農園の規模と利用者、形態について伺う ② 高齢化に伴い、ゴミ出しが困難な世帯が増えている。実施に向けて検討するとの答弁があったが、その後の検討はどうなっているか？
質問項目②	道路環境の整備については、 ① 音羽 小田線の整備について報告があったが、実際どのような形になるのか。整備費とスケジュールについて確認したい。
質問項目④	学校教育の充実（不登校児童・生徒への対応）については ① 6年度では校内教育支援室を充実し相談、学習、リラックスの3スペースとして、ほほえみ相談員、教員等配置とある。7年度に教育支援員をトライサポーターに移行するとあったが、トライサポーターはほほえみ相談員ではなかったか？ （また、ほほえみ相談員（室）への入室制限があったと聞くが実態、理由は？） また、ほほえみ相談員は無資格であるが、教員免許、心理士などの資格を設けるべきではないか？ ② 図書館司書の配置について、図書館司書の担当校が一人5校という、現在どのような変化があったか？ また、精華・小泉小、陶都、多治見、小泉中のマンモス校については専属の司書配置を望みたいがいかがか？
質問項目⑤	公共交通策の推進については、 ① バスチケットの補正1000万円余が計上されているが、この使用の地域による比較はどのようなか？ ② 相乗りタクシー利用の低迷地域に「よぶくるバス」等を導入する考えはないか？
質問の相手方	市長、経済部長、環境文化部長、建設水道部長、教育長、都市計画部長

市政一般質問発言通告書（会派代表・個人）

多治見市議会議長 様



令和7年8月20日

会派名 自民クラブ

14番議員 氏名 柴田雅也

質問題名	市民が主役として、住んでみたいまち 住み続けたいまちを実感できる多治見市へと繋げていくための行政の役割について
質問要旨	6月議会での一般質問では「多治見市の魅力について～高木市政1期目2年間の振り返りについて聞く」と題して高木市長にこの2年間、市政の舵取りをしていく中で多治見市の魅力をどう捉えてきたのか？問いました。 そのような中で市長は多治見市の魅力について 一番の魅力は多治見市民の皆さんであるというふうに感じています。自ら住んでいるまちを自らの力でよりよくしようとする考えや活動を感じることができ、本市が掲げる「市民が主役！躍動するまち 多治見」を実現する力を持っている市民である。世代や住んでいる地域によって、求めるものが違う。第8次総合計画を着実に進めることにより、住み続けたい、住んでみたいと思っただけのまちに近づけると信じている。」と答弁されました。 そこで、今回の質問では、市民がまちづくりの主役として、より魅力的な街―「たじみ」となるための具現化に向けた取り組みについて質問をします。
質問項目①	本市は中京学院大学との連携により、どのように市民が主役のまちづくりへと導いていこうと考えていますか？
質問項目②	本市が考える市民が主役となる地域力について見解を述べてほしい。また、持続可能な地域力のための課題についてどう捉えているか？
質問項目③	
質問項目④	
質問項目⑤	
質問の相手方	市長、企画部長、環境文化部長

市政一般質問発言通告書（会派代表）

令和 7年 8月 22日

多治見市議会 議長 様



会派名 政友会

12 番議員 氏名 吉田 企貴

質問題名	次の多治見市に必要な視点について ～討議課題集の策定と第8次総合計画の後期計画～
質問要旨	第8次総合計画の前期計画は令和9年度を計画期間としており、来年度には後期計画策定に向けた討議課題集の策定作業に入るものと思われる。 通常、後期計画は前期計画のマイナーチェンジに留めることが多いが、今回の場合は「大学の誘致」という「まちづくりの前提条件」に極めて大きな変動があったことは否めない。そこで、計画策定の前提となる討議課題集、すなわち多治見市が抱える課題の総括的分析作業に入るに際し、現在と未来にわたって多治見市がどのような視点で分析を進めるべきか、また、こういったキーワードで課題を捉えるべきかについて執行部の所見を伺う。
質問項目①	第8次総合計画後期計画の策定までのスケジュールはどのようなものか。
質問項目②	策定事務局に起用される人材には、どのような能力を求めるか。
質問項目③	人口減少を前提とした「守り」の政策における重点領域は何か。
質問項目④	大学誘致を前提とした「攻め」の政策における重点領域は何か。
質問項目⑤	近隣市との関係性をどう位置付けていくのか。
質問項目⑥	
質問の相手方	企画部長・総務部長

市政一般質問発言通告書 (会派代表 ・ 個人)



令和 7 年 8 月 22 日

多治見市議会議員 様

会派名 市 民 ク ラ ブ

15 番議員 氏 名 若尾 敏之

質問題名	職場の環境とマナーについて
質問要旨	職場には様々な環境があります。 働きやすい、安全・安心な職場を目指して、現在の職場の環境と 今後の対策等について伺います。
質問項目①	ハラスメント対策の現状と対策強化について ・実施している主なハラスメント対策はどのようなか。 ・ハラスメントが原因となるような事例はありますか。 ・ハラスメントが発生した場合の対応は、どのようなか。 ・市長として職員を適正に守り長く市の職員として市民の為に働き続けて貰う方策をお伺いします。
質問項目②	アルコールチェックの実態について ・多治見市のアルコールチェック実施の方針はどのようなか。 ・公用車を運転する時は必ず実施されているのか。 ・実施方法はどのようなか。 ・安全運転管理者との関係はどのようなか。 ・基準を超えたか、超えていないが検出された場合の対応はどのようなか。
質問の相手方	市長 総務部長 消防長

市政一般質問発言通告書 (会派代表 ・ 個人)



令和 7 年 8 月 22 日

多治見市議会議員 様

会派名 市 民 ク ラ ブ

15 番議員 氏 名 若尾 敏之

質問題名	国際陶磁器フェスティバル美濃' 27 について
質問要旨	昨年の 12 月議会と同フェス 2024 について評価と今後について 質問させて頂きました。まだ早いと思われる同フェス 2027 ですが 2024 の大会を振り返ることにより、2027 に繋がるポイントが 見えてくると思い、質問させて頂きます。
質問項目①	○フェスの成果について ・ 集客数から見たフェスの成果について
質問項目②	○収支決算について ・ 展示会場設営業務委託費、約 3,000 万円と産業・地域・文化振興事業費 全体の約 3,500 万円が、ほぼ同額という金額は妥当と言えるのか
質問項目③	○産業・地域・文化振興事業としての成果と経済効果について ・ 成果とフェス開催中から現在に至るまでの経済効果はどのような
質問項目④	○今後の取り組みについて ・ 産業・地域・文化振興事業として各団体への効果と各団体の更なる協力を 頂く為の今後の取り組みは、どのような
質問の相手方	市長 経済部長

市政一般質問発言通告書 (会派代表・個人)

令和 7 年 8 月 21 日

多治見市議会議長 様



会派名 公明党

13 番議員 氏名 寺島 芳枝

質問題名	市民の命を守り、安心・安全に暮らせる多治見市を目指して
質問要旨	市民の安心・安全を守ることは市政を預かるものとして、最重要課題である。私たち公明党は、防災減災や医療、福祉等の観点から、多治見市が市民にとって安心・安全で暮らせるよう提案してきた。 しかし、そのためには、行政の力だけでなく、民間企業・団体そして何より市民の皆さんの協力や応援なくしては実現できない。また持続可能な政策ならなおさらである。 そこで、多治見市議会公明党として、市民の命を守り、安心・安全に暮らせる街にさらになっていけるよう、質問、提案する。
質問項目①	★防災士の増員で地域防災力の向上を ・令和6年度より実施された防災士認証取得補助制度の活用状況と取得に対する研修場所等はどのようになっているか。 ・本市の地域防災力向上セミナーを防災士取得講座に切り替え、試験は東濃3市（土岐市・瑞浪市）と合同実施としてはどうか。
質問項目②	★防災拠点である全小中学校へのエアコン設置を 防災拠点として、また児童生徒の活動の場として、全小中学校体育館への空調整備の導入は必須であると考えてるが、本市の見解を伺う。
質問項目③	★防災拠点の1つとしてバロー文化ホールの駐車場の拡張を ・多治見市の文化の拠点としてバロー文化ホールは大切な施設である。音響設備も整い、大ホール・または全館を使用しての催事時等における駐車場の使用状況はどうか。 ・バロー文化ホールの駐車場の拡大整備を行い、災害時には車中泊やペット同行避難時の補完場所等として、利活用が出来ると思うが、見解を伺う。
質問項目④	★福祉避難所の環境改善のための県補助金の積極的活用を 要配慮者の避難先としての福祉避難所の環境改善は必須である。そのための県からの補助金があるが、活用の予定はあるか。
質問項目⑤	★誰にも優しい認知症施策の推進を ・認知症は早期発見が重要なことから、軽度認知症（MCI）検査の導入を再度提案するが、見解はいかがか。 ・リスクがある方へのマネジメントの観点からも、ガバナンスがある機能向上の継続したプログラムの各地域での実施をもとめるがいかがか。 ・福岡市が認知症の方への介護の技法として、全市民対象に取り組んでい

	る優しさを伝える技法である「ユマニチュード」の技法を本市でも取り入れ、在宅介護の負担軽減、介護離職者の防止や住み慣れた地域で暮らし続けるための一助としてはどうか。 ・新設・増改築における公共施設等の案内表示やデザインを認知症の人にも分かりやすく優しいデザイン（認知症の人にもやさしいデザインの手引き）を参考にしてはどうか。
質問項目⑥	★女性の命を守る「HPV 検査」の導入を 女性特有のがんである子宮頸がんの主な原因となるヒトパピローマウイルス（HPV）感染の有無を調べる「HPV 検査」が 2024 年度から細胞診に加え体制が整った自治体から公的検診として導入出来る様になったが、本市の導入の意向はどのようなか。
質問の相手方	市長 企画部長 子ども福祉部長

市政一般質問発言通告書 (会派代表・個人)

多治見市議会 議長 様



令和 7 年 8 月 22 日

会派名 新生自民

2 番議員 氏 名 亀井芳樹

質問題名	多治見の未来を共に築く～若者定着と持続可能なまちづくり～
質問要旨	多治見市の未来を担う若者世代が、地域に誇りを持ち、継続的に関わり続けられる環境を整えることは、人口減少時代における最も本質的な投資であり、自治体の持続可能性を左右する重要な政策課題です。 本市ではこれまで、子育て支援の充実、地場産業の振興、市民協働イベントの定着に加え、学生や若手社会人への就労・定住支援など、幅広い若年層の暮らしを支える施策を着実に積み重ねてきました。 しかし、直近の国勢調査速報値および住民基本台帳^{人口}移動報告でも 15～29 歳人口の減少傾向は続いており、特に進学や就職を契機とした転出入の動向は引き続き注視すべき課題です。加えて、令和 6 年度市民意識調査では暮らしやすさの向上や次世代支援施策の重要性が確認され、次回調査は令和 8 年度に予定されています。 以上を踏まえ、本質問では「若者定着に向けた現状把握」「既存施策の評価と改善」「市民協働による参画環境の整備」の三つの柱をもとに、本市の今後の方向性について伺います。
質問項目①	若者定着と課題認識の現状確認について 本市の若者定着に向けた現状把握と課題認識を、人口動態や生活環境を含めてどのように政策へ反映していくのか伺います。
質問項目②	施策評価と改善方針の現状確認について これまでの若者向け施策の成果と課題をどのように評価し、今後の改善・再設計に反映していくのか伺います。
質問項目③	市民協働と若者参画の環境整備の現状確認について 若者主体の地域活動や市民協働を支える制度や支援体制を、今後どのように整えていくのか伺います。
質問の相手方	企画部長

市政一般質問発言通告書 (会派代表 個人)

令和 8 年 8 月 22 日

多治見市議会 議長 様



会派名 オールたじみ

20 番議員 氏名 石田 浩 司

質問題名	令和 8 年度の政策提言と予算編成に向けて
質問要旨	◎令和 8 年度予算編成に向けて 高木市政の来期最終年度を迎えるにあたって
質問項目①	令和 8 年度予算編成に向けた市長の考え方を聞く。
質問項目②	
質問項目③	
質問項目④	
質問項目⑤	
質問項目⑥	
質問の相手方	市長

市政一般質問発言通告書（会派代表・個人）

令和 7 年 8 月 22 日

多治見市議会



会派名 オールたじみ

20 番議員 氏名 石田 浩 司

質問題名	令和 8 年度の政策提言と予算編成に向けて
質問要旨	令和 8 年度の政策への提言 ◎体育館・児童館児童センター空調機整備について 体育館や児童館・児童センターの遊戯室の空調機設置の状況と今後について聞く。
質問項目①	市内の体育館・児童館・児童センターにおける空調機設置の現状はどうか。
質問項目②	未設置施設については、今後どのような整備計画を持っているか。
質問項目③	国や県の補助金を活用した財源確保について考えがあるのか？
質問項目④	子どもや高齢者など、熱中症リスクが高い世代への安全対策として、市は今後どのように取り組むのか。
質問項目⑤	
質問項目⑥	
質問の相手方	市長・教育委員会・企画部長・こども健康部長

市政一般質問発言通告書 (会派代表・個人)

令和 8 年 8 月 22 日



会派名 オールたじみ
20番議員 氏名 石田 浩 司

質問題名	令和8年度の政策提言と予算編成に向けて
質問要旨	令和8年度の政策への提言 職員適正化計画について 令和8年度策定される職員適正化計画についての状況と今後について聞く
質問項目①	策定される職員適正化計画においての基本的な考え方は。
質問項目②	保健師・保育士・消防士のこれらの職種について、市民ニーズの増大に応じた増員を検討しているのか。
質問項目③	人材確保が困難な職種に対して、採用・定着を促すための具体的な施策（待遇改善・復職支援・研修など）をどのように進めるのか。
質問項目④	消防を含めた災害対応力の強化について、今後の人員計画をどのように描いているのか。
質問項目⑤	
質問項目⑥	
質問の相手方	市長・総務部長

市政一般質問発言通告書（個人）

令和7年8月22日

多治見市議会



会派名

自民クラブ

9 番議員

玉置 真一

質問題名	『元気で安全に暮らせるまちづくり』消防体制の充実について
質問要旨	第8次多治見市総合計画 政策の柱3 『元気で安心して暮らせるまちづくり』 市民が安心・安全に暮らせるよう、防災対策や防犯対策を強化するとともに、引き続き地域防災への支援や避難行動要支援者の避難体制整備、消防・救急体制の充実を図ります。 施策6 消防体制の充実 誰もが安全・安心に生活できるよう、地域消防力の向上に取り組むとともに、消防体制の充実強化を進めます。 基本計画事業 5 北消防署を移転・整備します。 6 東濃5市で通信指令業務を共同運用し、消防の連携・協力体制を強化します。 以上2基本計画事業について質問する。
質問項目①	東農5市消防指令センターの進捗状況と運用計画等について。
質問項目②	新北消防署の進捗状況と運用計画等について。
質問項目③	
質問項目④	
質問項目⑤	
質問の相手方	市長・消防長

市政一般質問発言通告書（会派代表・個人）

令和 7年 8月 22日

多治見市議会



会派名 オールたじみ

20番議員 氏名 石田 浩司

質問題名	ごみ焼却施設建設に向けた今後の進め方について
質問要旨	今治市バリクリーンを視察して感じた地域住民へのしっかりとした説明の と必要性和焼却炉だけでなく、空調機設置された体育館が附属施設施設と して整備されておりました。視察を踏まえて今後の三市の進め方につい て聞く。
質問項目①	住民から寄せられた意見や不安を、計画にどのように反映していく考えか。
質問項目②	一方的な説明にとどまらず、双方向の意見交換の場をどのように設けてい くのか。
質問項目③	三市が共同で進める事業である以上、説明会も三市が連携して責任を持っ て対応すべきと考えるが、市の見解はどうか。
質問項目④	住民の信頼を得るための具体的な取組み（先進自治体への視察・専門家活 用）について、どのように考えているか。
質問項目⑤	今治市ではストーカ炉を採用しておりますが、下水道汚泥・残灰は委託業 者処分するとされておりました。今後のシャフト炉の可能性はないか？
質問項目⑥	
質問の相手方	市長・環境文化部長

市政一般質問発言通告書（会派代表・個人）

令和 7年 8月 22日

多治見市議会 議長 様



会派名 オールたじみ

20番議員 氏名 石田 浩 司

質問題名	本庁舎開庁時間の見直しについて
質問要旨	本庁舎の開庁時間の変更（短縮）について 現在の開庁時間での朝夕の取り扱い状況と職員のアンケートからの開庁時間変更について聞く
質問項目①	本市の窓口利用実態（時間帯別来庁者数）をどのように把握しているか。 （特に朝夕の時間帯）について
質問項目②	オンライン手続やコンビニ交付の拡充を前提に、開庁時間短縮を進める検討をしていくのか？
質問項目③	市民サービス低下を招かず、職員の働き方改革につながる具体的な方策は何かあるのか？
質問項目④	
質問項目⑤	
質問項目⑥	
質問の相手方	市長・企画部長・総務部長・市民福祉部長

市政一般質問発言通告書（会派代表・個人）

令和 7 年 8 月 22 日

多 治 見 市 議 会 議 長 様



会派名 新 生 自 民
1 番議員 氏 名 獅子野 真人

質問題名	獣害対策
質問要旨	近年では、イノシシが市街地に近い人家周辺の里山に出没し、公園や庭、家庭菜園等を荒らしている。人的被害は今のところ無いが、近い将来に起きても不思議ではない。 鳥獣被害対策を講じる為に、個体群の管理等について「多治見市鳥獣被害防止計画」を踏まえながら質問する。
質問項目①	市内の被害状況はどのようなか。
質問項目②	わなの設置数と捕獲数はどのようなか。
質問項目③	猟友会や狩猟免許保持者の数はどのようなか。
質問項目④	
質問項目⑤	
質問項目⑥	
質問の相手方	市長、経済部長

市政一般質問発言通告書（会派代表・個人）

令和7年 8月22日

多治見市議会



会派名 オールたじみ

5 番議員 黒川 昭治

質問題名	公道に隣接する土地の樹木管理について
質問要旨	「斜めに生えた樹木が倒れて通行止めになった」、「枯木が道路上に落下する」といった事案が、自身が居住する区内で複数回発生している。 このような危険を事前に回避することで事故防止となる。 現在の当市の管理体制について質問する。
質問項目①	道路・樹木の管理をどのように行っているか？
質問項目②	道路上にはみ出した樹木に関する規制で、交通に支障を及ぼす事案を発見した場合は、どのように対応しているか？
質問項目③	民地の場合、地権者が適切な管理をすべきであるが、啓発は行っているか？
質問項目④	道路法に違反していなくとも、枯木の倒木などの危険が予想される場合、どのように対応しているか？
質問項目⑤	
質問項目⑥	
質問の相手方	建設水道部長

市政一般質問発言通告書（個人）

令和 7年 8月 22日

多治見市議会 議長 様



会派名 自民クラブ

10 番議員 氏名 城處 裕二

質問題名	有害鳥獣対策（主にシカ）について
質問要旨	全国でクマによる被害が問題となっている中、多治見市においても有害鳥獣対策は必要不可欠である。こうした中、にわかに問題となっているのがシカによる獣害である。 現在、多治見市の有害鳥獣捕獲は猟友会が担っており、主に箱罠による捕獲が主流である。これは、括り罠に対して箱罠は経済性に優れることに加え、安全性の面でも信頼性が高いからである。 一方、樹皮等への食害を通じて森林荒廃に繋がるシカについては箱罠での捕獲は困難であり、現在のところシカに対する手当は無いに等しい。また、イノシシの場合、最大で2万2000円の報奨金があるのに対し、シカは8000円に留まる。シカを捕獲する場合には括り罠による他ないが、括り罠は使い捨てで1回につき5000円程度の費用を要し、現実的に現行制度下において猟友会がシカの捕獲業務を行うのは困難である。 そこで、将来の森林荒廃を未然に防ぎ、有害鳥獣被害を低減すべく、以下の質問をする。
質問項目①	多治見市の有害鳥獣被害及び捕獲の現状はいかがか。
質問項目②	シカによる被害は近隣自治体ではどうなっているか。
質問項目③	シカに対する報奨金を増額するか、もしくは括り罠に対する補助制度の検討が必要と考えるがどうか。
質問項目④	ジビエ等の活用策はないか。
質問項目⑤	ところで、多治見にクマはいるのか。
質問の相手方	経済部長

市政一般質問発言通告書（ 個人 ）

令和7年8月21日

多治見市議会 議長 様



会派名 市民ネットワーク

19番議員 氏名 井上あけみ

質問題名	当市の訪問介護の状況と課題について
質問要旨	在宅介護の要は訪問ヘルパーであるが、介護保険計画9期において、国は訪問介護ヘルパーの報酬基準を引き下げ、ガソリン代、移動時間も考慮されないままである。ヘルパー労働は離職者も相次ぎ、若い人材からも敬遠され存続の危機を迎えている。 都道府県指定の訪問介護事業所のゼロの自治体は全国109町村（昨年度）になった。 以上を踏まえ、当市の状況と市としての支援の可能性について以下質問する。
質問項目①	全国の上記の状況と県下、当市の状況について、市の認識を伺う。
質問項目②	また、担当課との事前聞き取りでは、離職が多く就業者の少ない理由は、報酬の引き下げによるより、在宅訪問そのものが（トラブルが起きやすく）主な原因であるかのような印象を持ったが、市としてトラブルを防ぐ努力等は、できなかったのか？どのようなのであったのか？ 伺う。
質問項目③	訪問介護ヘルパーの内、本来の個々の自宅を訪問し、家事援助、介護を行うものと、有料老人ホームなど施設に併設20～30部屋を訪問するヘルパーも同様に一律報酬を下げられているが、この点についてどう考えるか？ 移動時のガソリン代なども考慮されない点について市として何らかの支援をすることはできないか？
質問項目④	一方、個々の自宅まで伺う訪問ヘルパーの苦境をよそに、新規の有料老人ホームや、ケアハウスなどは増加している。当市の個々在宅のヘルパー利用者と、施設併設住宅でのヘルパー利用者の人数とそれぞれの利用回数、給付合計額についてはどのようなようか？
質問項目⑤	当市の介護保険の認定状況については、他市と比較するとかなり低いと9期計画のグラフにあったが、どのような理由によるものか？
質問項目⑥	介護保険の計画期間は3年であり、この間の保険料の過不足を調整するための準備基金について現在20億円とあった。この基金の一部を個々の自宅を訪問するヘルパーのガソリン代等に充てた場合、どの程度の支出になるか？
質問項目⑦	介護予防・日常生活支援総合事業の「訪問型サービス」を実施しているシルバー人材センターが増えているが、当市のシルバー人材センターについて、同事業の実施を打診もしくは、研修会など提案してはいかがか？
質問の相手方	市長、福祉部長 市民

市政一般質問発言通告書（

個人）

令和7年8月21日

多治見市議会



会派名 市民ネットワーク

19番議員 氏名 井上あけみ

質問題名	多治見市の第3セクターとなる事業体への支出について
質問要旨	多治見市は市長の子育て3大公約実現によって毎年合わせて3億5000万円近い支出の増加が必至となった(給食の国の支援未確定)。一方、車の免許返納により、移動の自由を失くした高齢者は増加しており、より利用しやすい公共交通の充実、また、自宅でケアを受ける要支援、要介護の訪問介護のヘルパーの激減により、様々なサービスの充実は急務である。教育にも、今後多くの人材が求められている。 このような状況で、市が関わる第3セクターへの市の出資、予算の投入が適正なのか、以下質問をする。
質問項目①	当市が出資、支出している第3セクターの数と名称について、その出資金の割合についてはどのようなか？ その中で市の職員等（3役含む）が、理事等役員となっているのはどこか？ 経営・運営の安定性については、どのようなか？ 経営困難な事業体があれば、助言、改革等する必要があると考えているのか？
質問項目②	今回、行政改革に挙げられていた「FMPiPi」では代表取締役が交代、市の総務部長が社外取締役の1人として経営にかかわる事になり、再出発する事になった理由は災害時に必要、1度閉局すると、再開局が難しいからという理由だが、具体的にどういうことか？ 総務部長の役割はどのようなものなのか？
質問項目④	多治見市は今後新たに出発する「FMPiPi」にどのような運営、取り組みを望むのか？ (ちなみに、隣の「FM ララ」への自治体の年間放送委託料は可見市 600 万円、美濃加茂市 500 万円、御嵩町 260 万円の計 1400 万円、多治見市は「FMPiPi」に約 2900 万円、土岐市は約 110 万円と聞いている。)
質問項目⑤	「FMPiPi」の名称については、正式名は「株式会社エフエムたじみ」であるが、今後、人口が減っていく中で、1自治体だけの運営支援では限界があり、もう少し広くくりであった方が内容も広がり、営業もしやすいのではないかと考えるがいかがか？
質問項目⑥	
質問の相手方	市長

市政一般質問発言通告書（会派代表・個人）

多治見市議会議長 様



令和7 年 8 月 18 日

会派名 日本共産党

16 番議員 氏 名 三輪寿子

質問題名	小中学校女子トイレ・公的施設のトイレに生理用品の設置を！
質問要旨	① 「生理について」学校・保健室を通した相談・行政担当窓口での女性特有の健康相談がどんな支援につながったのか？ ② 内閣府調査によると令和7年度「生理と貧困」に係わる取り組み開始した具体的事例・実践例が紹介されているが、当市は女性の健康と権利を尊重するため生理用品を設置する意図があるのか？ ③ 学校・公共施設女子トイレ内に生理用ナプキンを設置した場合、具体的な設置内容と設置費用・予算措置内容・周知方法についてどのような見通しか？
質問項目①	「生理について」養護教諭に寄せられた相談・担当課窓口相談から生活困窮自立支援・生活保護申請・自立支援につながった事例はあるか？
質問項目②	現在、初潮～閉経まで30年～40年・月経回数は平均、約450回。生理用品負担額は50万円以上と経済的負担が大きい。自己責任ではなく公的支援で女性の健康と権利を尊重する必要がある。●全小中学校のトイレ・公的施設に生理用品の設置を求めるがどのように考えているか？
質問項目③	厚労省は2022年「生理の貧困は女性の健康や尊厳にかかわる重要な課題」として「地域女性活躍推進交付金」が補助対象とされた。提供方法は「公共施設、小中学校トイレに生理用品を整備し、自由に受け取れるようにする」「配布方法は自治体の判断」としている。●実施した場合、生理用品の全小中学校女子トイレ設置費用・公共施設女子トイレ設置費用はどれ程かかるか？又、予算の措置内容、周知方法どのように考えているか？
質問の相手方	市長・教育長

市政一般質問発言通告書（会派代表・個人）

令和7年8月22日

多治見市議会 議長様



会派名 政友会

7 番議員 氏名 加藤 智章

質問題名	人口減少社会を見据えた「地域分権型まちづくり」
質問要旨	人口減少が確実に進む中、地域住民のニーズに応える迅速かつ柔軟な行政サービスの維持はますます困難となりつつあります。今後は地域ごとの諸問題の解決をすべて行政に一任するのではなく、地域住民が主体となって解決にあたることを求められます。 行政が担うべき業務と、地域住民や地域組織が主体的に担うべき活動の切り分けをどのように整理・明確化していくのか。地域の課題解決に住民が主体的に参加できるようにするため、市としてどのような支援策や仕組みづくりを進めていくのかを探るべく伺いいたします。
質問項目①	人口減少が確実に進み、行政サービスの担い手も減る中、行政だけではカバーできない分野をどのように対応されるお考えですか？
質問項目②	行政のみに依存するのではなく、地域住民が主体となってまちづくりを進めていけるような仕組みを作るうえで、行政が果たすべき役割はどのようなものであると考えますか。
質問項目③	校区を単位としたコミュニティは特に重要と考えますが、そうした組織に対する本市の支援体制をどのように捉えていますか？
質問項目④	政策効果について、地域別で判断していくような指標が必要と考えますがいかがですか？
質問項目⑤	
質問の相手方	企画部、環境文化部

市政一般質問発言通告書（会派代表・個人）

令和7 年 8 月 22 日

多治見市議会 議長 様



会派名 新生自民

17 番議員 氏名 林 美行

質問題名	このまちを、持続可能性の高い、豊かで楽しいまちに、今取り組むべきこと。パートⅡ―特に経済政策
質問要旨	安心して暮らすために必要なものは安定した収入が必要なことは言うまでもありません、特に転出が多い若い人たちには大きなポイントです。 また、人口減少が加速している状態で地域の持続可能性を向上させることは容易ではありません。インフレ型の社会で合理的な生産性を向上させていくには戦略的な取り組みが必要になるものと考えますので、その視点を伺うものです。 若者が転出しない、転入してくる魅力的なまちであることをどのようにめざすのか。目指すとした政策体系はどのように考えれば良いのか伺うもの。
質問項目①	若い人たちがこの地で働きたいと考える地域をどのようにして目指すのか。
質問項目②	奈良時代から陶器朝貢の国といわれた歴史のある地場産業陶磁器のこれからは。
質問項目③	中心市街地でのにぎわいを再生できるか。市街地商業にはどのような可能性を考えるべきか。
質問項目④	新規産業はどのように考えるのか。 新しい地場産業を作る方向についても考えるべきではないのか。
質問項目⑤	人口減少社会の中で持続可能性を高め、働く場、豊かさを作り出すことが出来るとされる 循環型地域経済をどのように考えるのか。
質問項目⑥	都市基盤整備、地域でのすみわけなど広域での考え方がより必要であるが広域での取り組みをどのように考えるのか。
質問の相手方	市長、企画部長、経済部長、都市計画部長

市政一般質問発言通告書（会派代表・個人）

令和 7 年 8 月 21 日

多治見市議会議長 様



会派名 オールたじみ

6 番議員 氏名 成田 康弘

質問題名	想定外を想定する防災施策を促進 ～南海トラフと豪雨災害への備え～
質問要旨	近年、国内において気象状況や自然災害などに対し、「観測史上 1 位」「命に関わる危険な」「これまでに経験したことのない」などという言葉が繰り返し使われています。これまでに発生した大震災や豪雨・土砂災害は異なる災害ですが、これら全てが、私たちの想定を超えた被害が現実起きてきたということです。この夏も、各地で線状降水帯による豪雨が甚大な被害をもたらしました。また、初めて運用された「南海トラフ地震臨時情報」から 1 年が経過した今こそ、考えるべき課題が大いにありと強く感じる。だからこそ、「想定外を想定する」視点で防災施策を進めなければなりません。そのためには、行政主体の災害対応力整備、防災備蓄品・避難所の強化、地域の防災力を総合的に高めることが不可欠です。真に有益な大規模災害への備えが喫緊の課題であることから、①地震臨時情報の運用に対し本市の体制 ②災害備蓄品や指定避難所整備の現状と課題 ③防災士の養成・普及促進策を含む地域の防災力の現状と対策、今後の支援策や方向性について伺う。
質問項目①	災害リスクの現状認識について ・臨時情報が初めて発表されて 1 年が経過した。発表基準や想定される住民への影響など、本市はどのように認識し、住民への周知や対応マニュアル整備は進んでいるのか。 ・線状降水帯による豪雨や突風、猛暑など複合的な災害リスクが顕在化。これら災害全般に対する現状認識と避難行動要支援者名簿の整備状況について伺う。
質問項目②	災害備蓄品や指定避難所整備について ・大規模災害時の想定避難者数に対する 72 時間を乗り切るための水・食料・毛布・簡易トイレなどの数量をどう認識しており、今後の補充をどのように整備する予定か。 ・夏の酷暑や冬の寒さなど、多治見特有の気候を踏まえた備蓄（冷感グッズ、毛布、簡易暖房機器など）の対応は進んでいるか。 ・指定避難所の空調設備の現状と今後の普及施策について。 ・平時からの利用に生かせる避難所施設の設備（フェーズフリー）について。
質問項目③	地域防災力の強化について ・松山市は、防災士 1 万人を超える規模で養成され、地域防災力向上に寄与している。本市における防災士の養成数（推移を含む）、今後の普及促進策、役割の位置づけは如何に。 ・さらに、自主防災組織や町内会との連携をどのように強化していくのか。災害時に行政だけでなく住民主体で「共助」が発揮できる体制をどのように築いていくのか。
質問の相手方	市長、企画部長

市政一般質問発言通告書（会派代表・**個人**）

令和 7 年 8 月 22 日

多治見市議会



会派名 新生自民

3 番議員 氏名 葉狩 拓也

質問題名	中京学院大学の移転に伴う学生数確保に関する市の支援と対応について
質問要旨	令和 9 年 4 月に中京学院大学の多治見市笠原町にキャンパス移転が迫っています。これは教育環境の刷新と学生数の回復を目的とした重要な施策であり、市としても地域活性化の契機として期待されるところです。しかしながら、近年の入学者数は減少傾向にあり、令和 2 年度には約 350 名だった入学者が令和 7 年度には約 150 名まで減少しています。加えて、全国的な 18 歳人口の減少、交通アクセスの課題、愛知県を中心とした近隣私学との競合など、学生数の確保には多くの構造的な障壁が存在します。大学移転が単なる施設整備にとどまらず、受験者数・入学者数の増加につながるよう、市としても広報支援、交通利便性の向上、学生用住宅の整備など多方面からの支援が求められます。本質問では、令和 9 年の移転を見据え、学生数確保に向けた市の具体的な対応と今後の戦略について伺います。
質問項目①	受験者数増加の見通しと市の検証姿勢 ①市として大学側が見込む入学者数の増加についてどのように把握しているか。また、その根拠や見通しをどのように検証しているのか。 ②エリア別の戦略や、予想はどのようなか。また愛知県からの流入や通学圏拡大の可能性について、具体的なデータや分析はあるか。 ③今年度から大学移転後も志願者数・入学者数の推移を市として継続的に把握し、支援施策の見直しに活かす仕組みはあるか。
質問項目②	広報・進路支援による入学者数確保 ①市として岐阜県内や愛知県の高校に対して、進路説明会への支援や広報活動を行う予定はあるか。また、大学と連携して大学説明会やオープンキャンパス等に参加していくのは可能か。 ②大学の特色ある教育内容や地域連携活動を市として発信する取り組みは可能か。 ③大学と連携した市独自の広報施策（動画・SNS・市報など）の展開につ

	いて、具体的な計画はあるか。
質問項目③	学生の交通利便性の確保 ① 笠原町は多治見駅から距離があり、通学にはバスや自家用車を利用する必要がある。市として移転後の学生の通学利便性を確保するために、バス路線の増便や運行時間の調整、またはシャトルバスの新設などを検討しているか。 ② 通学にかかる交通費負担の軽減や、学生向け定期券制度の充実について市として支援の可能性はあるか。 ③ 移転に向けた交通施策の検討・実施スケジュールについて、現時点での計画や目安はあるか。
質問項目④	学生住宅の整備と市の支援 ① 移転後の学生住宅の確保は入学者数や若者定着に直結する。移転後に想定される学生数に対して、住宅需要がどの程度見込まれるか、市としての予測はあるか。住宅供給エリアについても、笠原町内に限らず多治見駅周辺や他地域との分散配置の可能性を含めて検討しているか。 ② 市として、住宅供給体制の整備や家賃補助制度の検討などを行う予定はあるか。 ③ 空き家・空室の活用や、地域住民との協働による住環境整備について、市として具体的な取り組みは可能か。
質問の相手方	市長・企画部長・都市計画部長